

統計データ 資料

令和5年10月

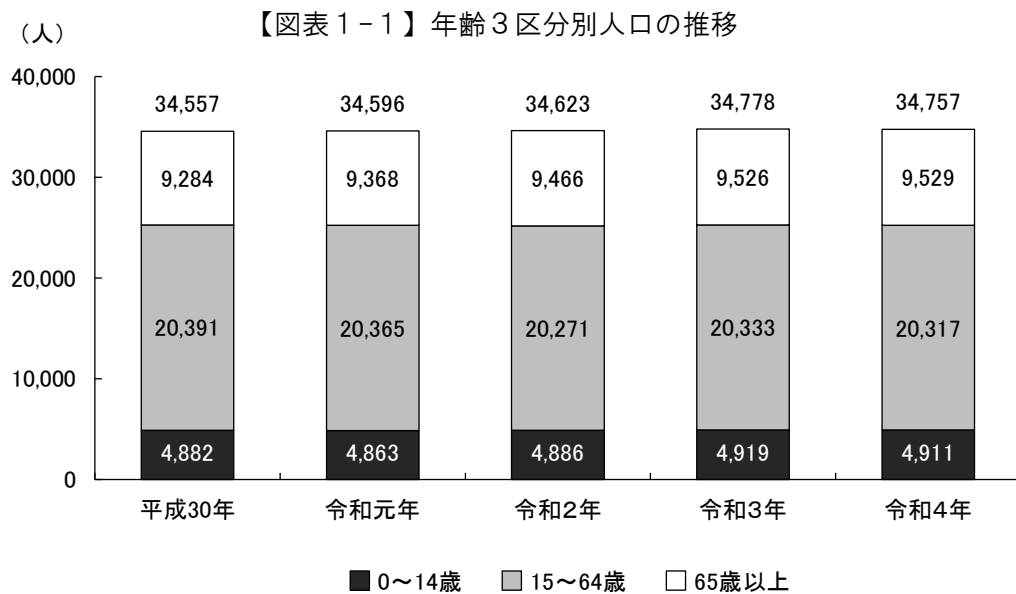
目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| (1) 人口・世帯の状況..... | 1 |
| (2) 出生の状況..... | 3 |
| (3) 死亡の状況..... | 4 |
| (4) 健診（検診）の受診状況..... | 5 |
| (5) 国民健康保険レセプトからみた疾病及び医療費の状況..... | 9 |
| (6) 健康づくりに関する状況..... | 10 |
| (7) 健康寿命..... | 11 |
| (8) 要介護認定の状況..... | 12 |

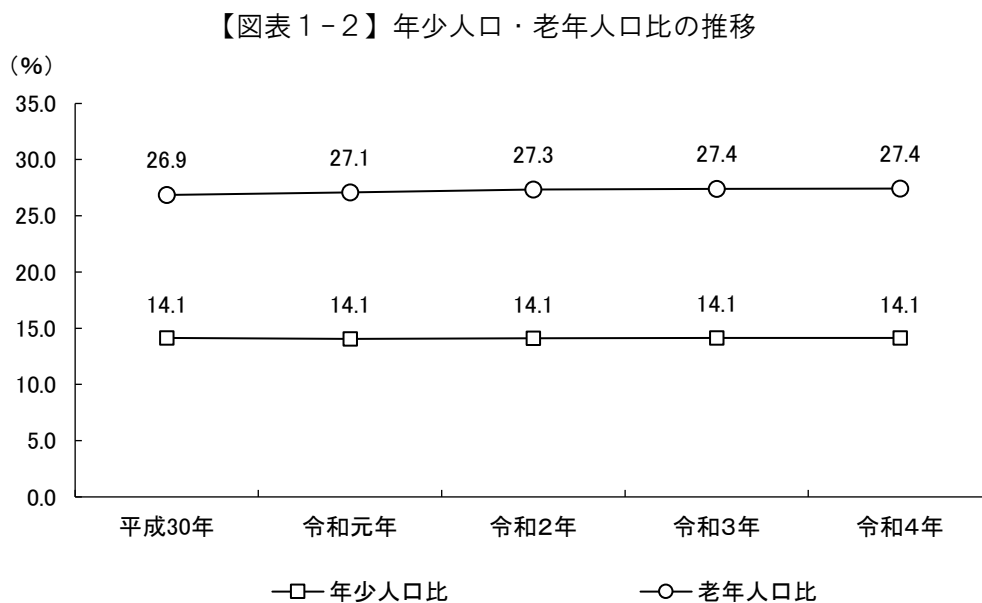
(1) 人口・世帯の状況

①人口の構造と推移

本町の総人口は平成30年から令和3年にかけて増加傾向にありましたが、令和4年には減少し、34,757人となっています。人口を年齢3区分別にみると、老年人口（65歳以上）は増加傾向が続いており、令和4年は27.4%となっています。一方、年少人口（0～14歳）は平成30年から令和3年にかけて微増となっており、年少人口比は横ばいで推移しています。

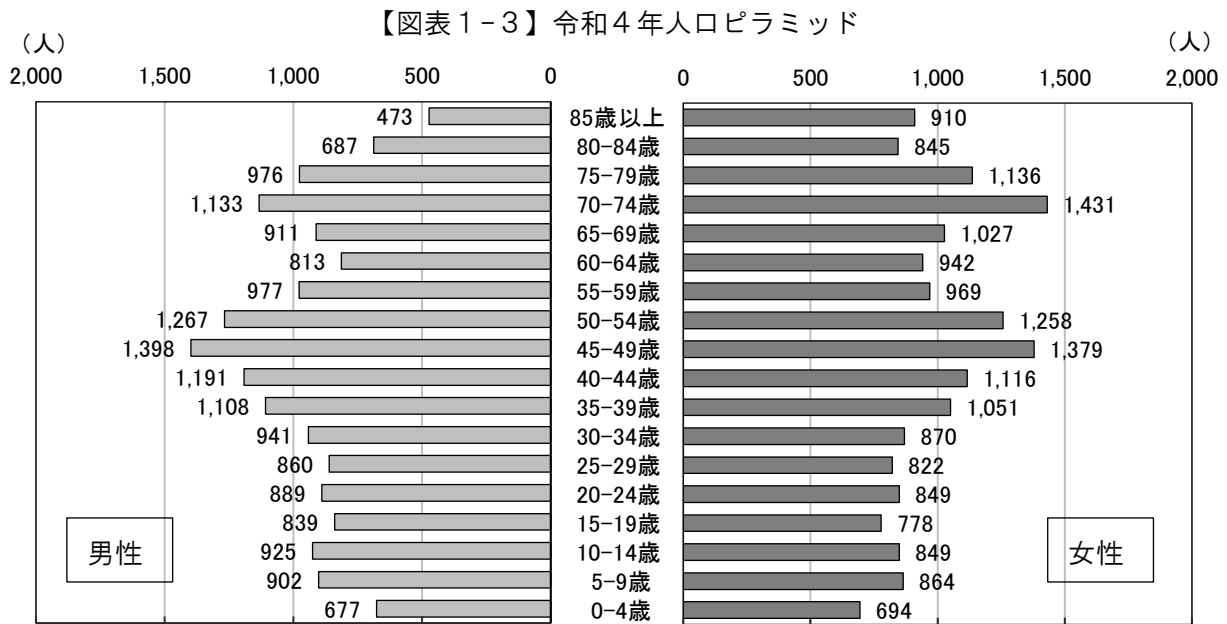


資料：住民基本台帳（各年10月1日）



資料：住民基本台帳（各年10月1日）

令和4年の本町の人口ピラミッドをみると、男性で最も多いのが45-49歳、次いで50-54歳。女性では最も多い世代が70-74歳、次いで45-49歳となっており、団塊ジュニア、団塊の世代の年齢層が多い構造となっています。【図表1-3】



資料：住民基本台帳（各年10月1日）

② 高齢者世帯の推移

高齢化が進むとともに、高齢夫婦世帯（夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯）、高齢単身世帯（65歳以上の人一人のみの一般世帯）も増加しています。令和2年の一般世帯数に占める高齢夫婦世帯、高齢単身世帯の割合をみると、高齢夫婦世帯が14.5%、高齢単身世帯が12.2%となっています【図表1-4】。

【図表1-4】 高齢者夫婦のみの世帯・高齢者単身世帯数の推移

| | | 平成7年 | 平成12年 | 平成17年 | 平成22年 | 平成27年 | 令和2年 |
|--------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 一般世帯数 | | 10,798 | 11,376 | 12,051 | 12,557 | 13,253 | 13,781 |
| 高齢夫婦世帯 | 世帯数 | 605 | 890 | 1,230 | 1,607 | 1,854 | 1,993 |
| | 割合 | 5.6% | 7.8% | 10.2% | 12.8% | 14.0% | 14.5% |
| 高齢単身世帯 | 世帯数 | 355 | 503 | 713 | 984 | 1,442 | 1,676 |
| | 割合 | 3.3% | 4.4% | 5.9% | 7.8% | 10.9% | 12.2% |

資料：国勢調査（令和2年）

（注）割合は一般世帯数に占める割合。

(2) 出生の状況

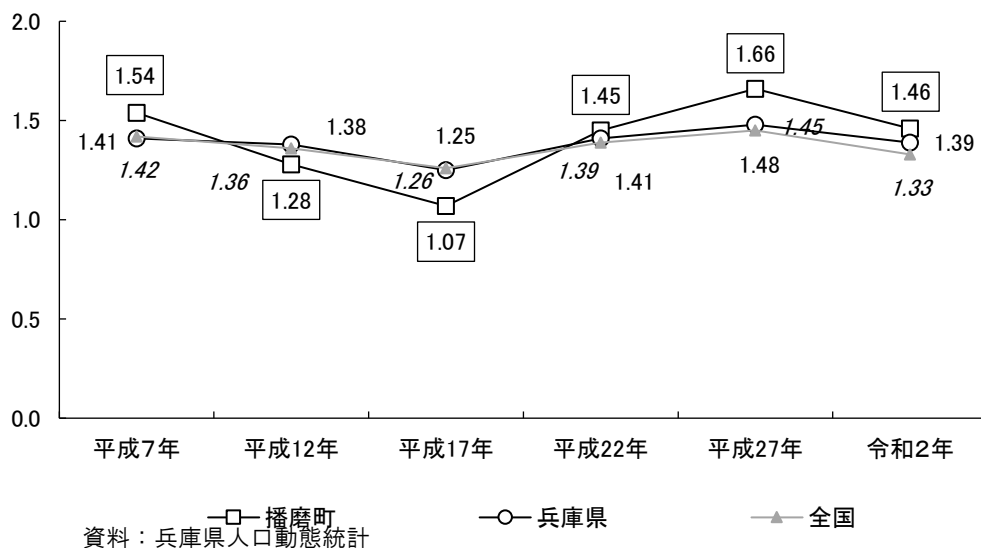
本町の出生数は230～270人程度で推移しています【図表1-5】。合計特殊出生率をみると、平成7年から平成17年にかけて減少したものの、その後増加に転じ、平成22年以降は県、全国の値を上回り、令和2年には1.46となっています【図表1-6】。

【図表1-5】出生数・乳児死亡数等の推移

| | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
|--------|-------|-------|-------|------|------|------|------|
| 出生数 | 277 | 253 | 265 | 235 | 237 | 237 | 236 |
| 乳児死亡数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 新生児死亡数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 死産数 | 1 | 7 | 5 | 2 | 8 | 4 | 7 |
| 周産期死亡数 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |

資料：兵庫県人口動態統計

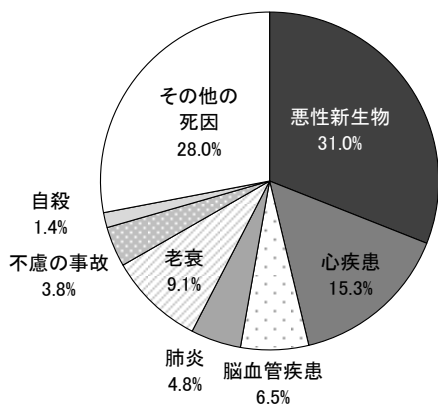
【図表1-6】合計特殊出生率の推移



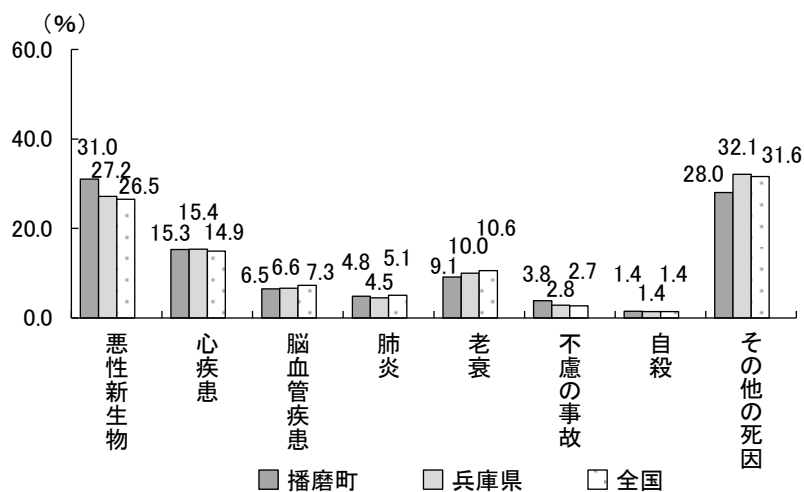
(3) 死亡の状況

本町の主な死因別死亡数の割合をみると、県、全国と同様、悪性新生物、心疾患の割合が高く、悪性新生物が31.0%、心疾患が15.3%となっています【図表1-7】【図表1-8】。

【図表1-7】主な死因別死亡数の割合



【図表1-8】主な死因別死亡数の割合（県・全国比較）



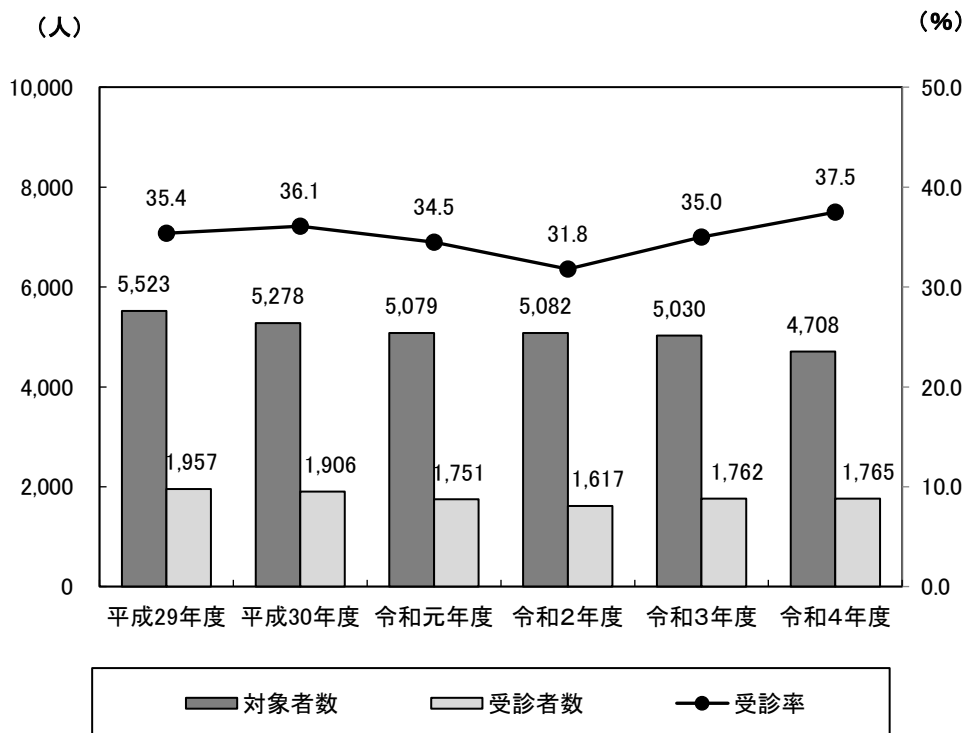
資料：兵庫県保健統計年報

(4) 健診（検診）の受診状況

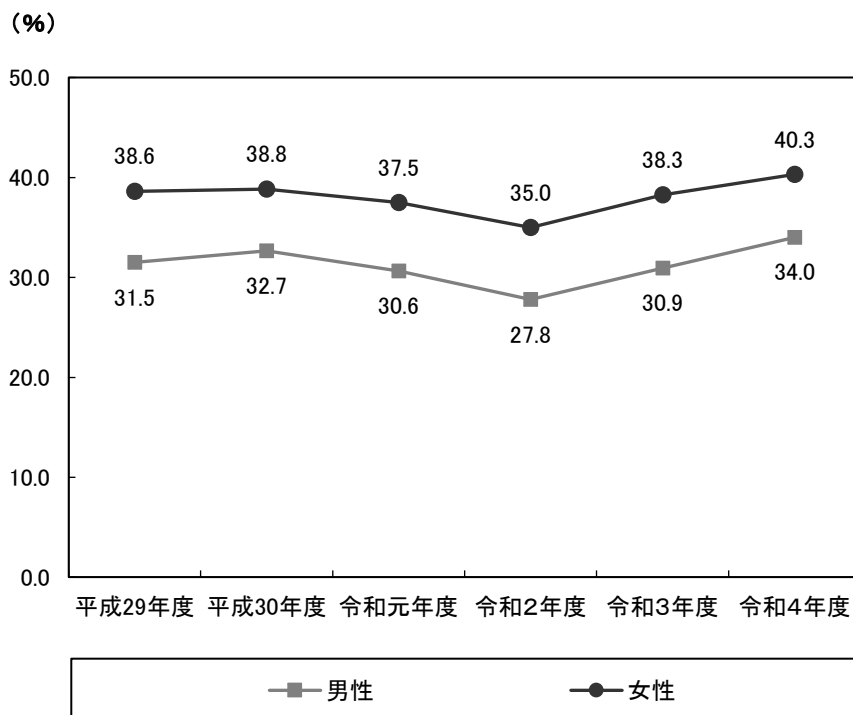
①特定健診の受診者数

特定健診の受診率は令和2年度以降上昇傾向で推移しています【図表1-9】。一方で性別で見ると、男性の健診受診率が女性よりも低くなっています【図表1-10】。

【図表1-9】特定健診受診者数・受診率の推移



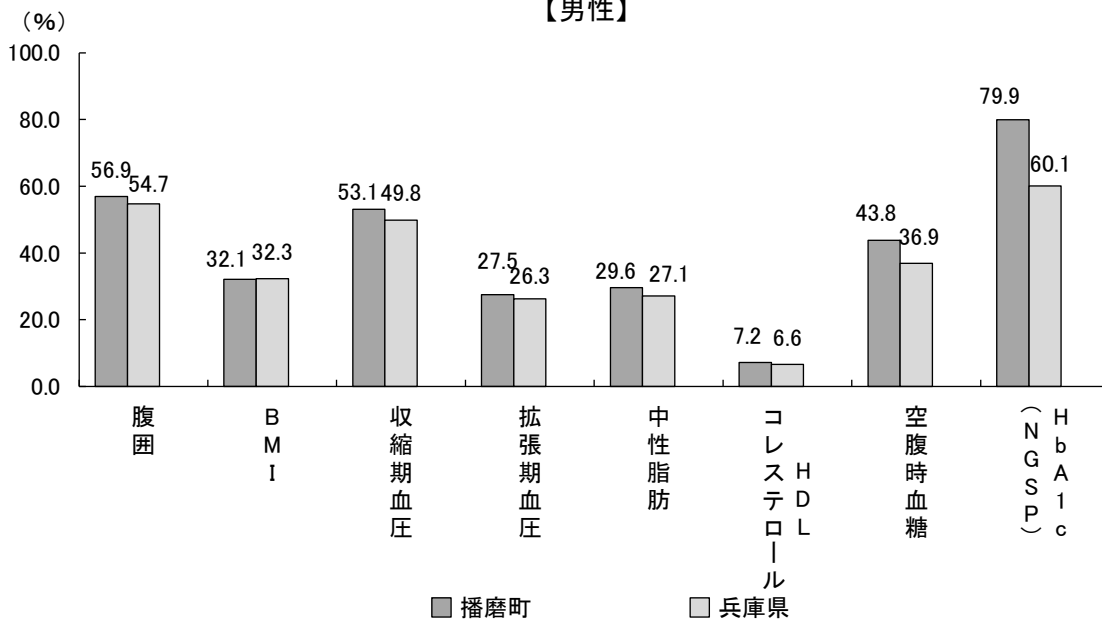
【図表1-10】特定健診受診率の推移（性別）



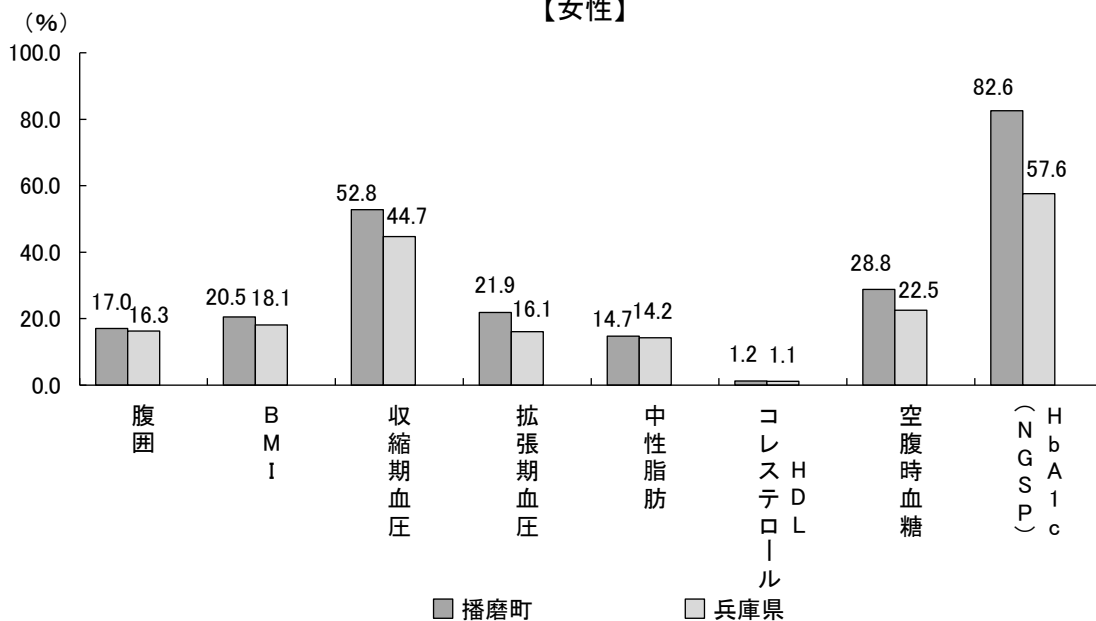
資料：特定健診・保健指導実績（法定報告）

特定健康診査結果から有所見者の割合をみると、男女ともに「HbA1c」が最も高くなっており、県の値を大きく上回っています【図表1-11】。

【図表1-11】特定健康診査結果所有見者の割合（令和4年度）
【男性】



【女性】



資料：兵庫県国民健康保険団体連合会「標準的な健診・保健プログラム（確定版）様式6」

【HDLコレステロール】

コレステロールは、血管内壁にへばりついて動脈硬化を引き起こすコレステロールを引き抜いて、肝臓まで運ぶ働きをすることから「善玉コレステロール」と呼ばれている。

【HbA1c（ヘモグロビン・エーワンシー）】

過去1～2か月間の平均的な血糖値を反映し、血糖値のように食前・食後等の日内変動がないため、糖尿病の診断や経過観察の指標として広く使用されている。

②特定保健指導の実施状況

特定保健指導の実施状況をみると、対象者数の合計は 180 人～210 人程度で推移しています。終了率をみると、動機付け支援と積極的支援ともに、令和 4 年度の終了率が平成 29 年度の終了率を下回っています【図表 1-12】。

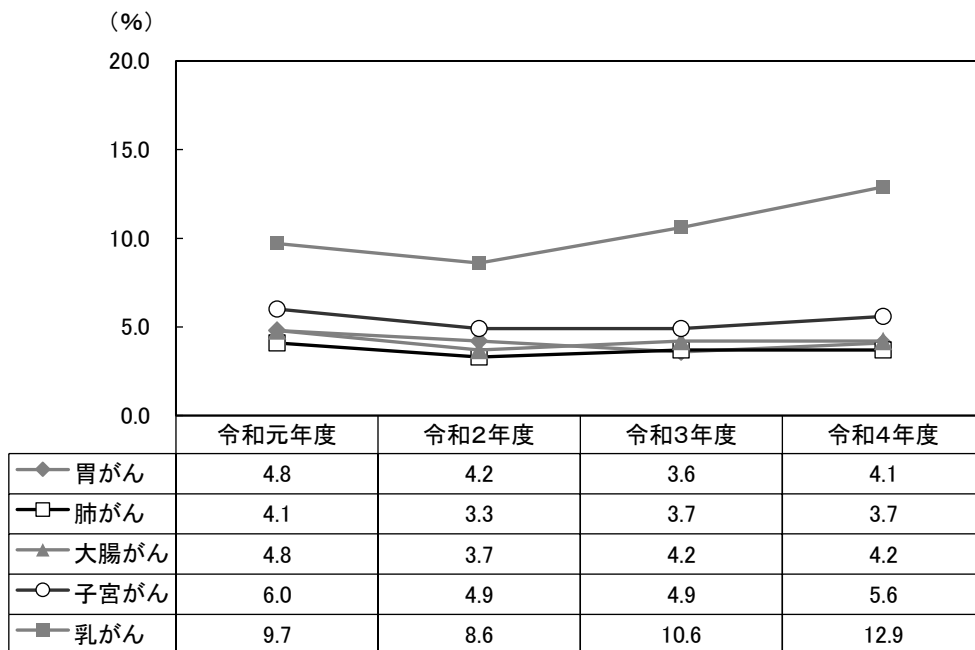
【図表 1-12】 特定保健指導の実施状況（性別）

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 |
|--------|---------|--------|--------|-------|---------|---------|---------|
| 動機付け支援 | 対象者（人） | 174 | 172 | 151 | 164 | 177 | 158 |
| | 終了者数（人） | 45 | 65 | 42 | 27 | 26 | 36 |
| | 終了率 | 25.9% | 37.8% | 27.8% | 16.5% | 14.7% | 22.8% |
| 積極的支援 | 対象者（人） | 29 | 30 | 39 | 22 | 37 | 36 |
| | 終了者数（人） | 7 | 8 | 4 | 2 | 1 | 4 |
| | 終了率 | 24.1% | 26.7% | 10.3% | 9.1% | 2.7% | 11.1% |
| 合計 | 対象者（人） | 203 | 202 | 190 | 186 | 214 | 194 |
| | 終了者数（人） | 52 | 73 | 46 | 29 | 27 | 40 |
| | 終了率 | 25.6% | 36.1% | 24.2% | 15.6% | 12.6% | 20.6% |

③がん検診受診率の推移

がん検診受診率の推移をみると、乳がんの受診率が上昇傾向となっている一方で、その他のがん検診の受診率は横ばいで推移しています【図表 1-13】。

【図表 1-13】 がん検診受診率の推移

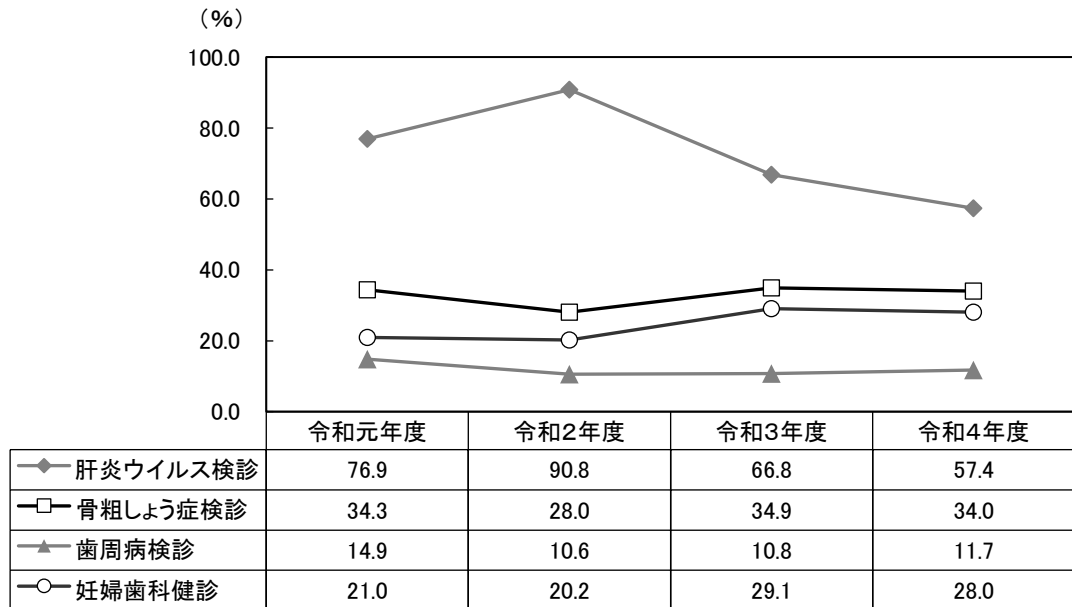


資料：地域保健・健康増進事業報告

④その他の成人検診受診率の推移

その他の成人検診受診率の推移をみると、肝炎ウイルス検診の受診率が令和2年度を境に低下しています【図表1-14】。

【図表1-14】 その他の成人検診受診率の推移



資料：播磨町健康福祉課

⑤乳幼児健診受診率の推移

本町の乳幼児健診の受診率は、各年で9割以上となっています。【図表1-15】。

【図表1-15】 乳幼児健診受診率の推移

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 3～4か月児健診 | 96.7 | 97.0 | 101.3 | 99.6 |
| 10か月児健診 | 100.4 | 99.6 | 100.4 | 100.0 |
| 1歳6か月児健診 | 96.4 | 95.4 | 98.6 | 98.9 |
| 3歳児健診 | 97.0 | 90.0 | 100.3 | 98.1 |

(5) 国民健康保険レセプトからみた疾病及び医療費の状況

医療費の水準を表す1人当たりの診療費は、医療機関受診率と1件当たり日数、1日当たり診療費で表すことができ、これらを「医療費3要素」といいます。

| | |
|--------------|--|
| 医療機関受診率 (%) | 1か月または1年間にどのぐらいの頻度で医療機関にかかったかを表します。医療機関受診率が高いということは、医療機関にかかる人の割合が高いということになります。 |
| 1件当たり日数 (日) | 診療行為1件にかかる平均診療日数です。入院の1件当たりの日数が多ければ概ね入院期間が長く、入院外の1件当たりの日数が多ければ通院頻度が高いと考えられます。 |
| 1日当たり診療費 (円) | 診療行為1件にかかる平均診療日数です。入院の1件当たりの日数が多ければ概ね入院期間が長く、入院外の1件当たりの日数が多ければ通院頻度が高いと考えられます。 |

本町の医療機関受診率についてみると、入院外は本町が県と比べて低くなっています【図表1-16】。

【図表1-16】 医療機関受診率

| | 入院外 | | 入院 | |
|-------|----------|----------|-------|-------|
| | 播磨町 | 兵庫県 | 播磨町 | 兵庫県 |
| 令和4年度 | 1,647.03 | 1,640.95 | 63.08 | 73.53 |
| 令和3年度 | 1,644.42 | 1,626.66 | 64.31 | 73.44 |
| 令和2年度 | 1,598.88 | 1,594.28 | 62.13 | 74.24 |

資料：兵庫の国保

1件当たり日数をみると、通院頻度は令和2年度から令和4年度まで一貫して県と比べて高く、入院期間は令和4年度では県と比べて長くなっています【図表1-17】。

【図表1-17】 1件当たり日数 (日)

| | 入院外 | | 入院 | |
|-------|------|------|-------|-------|
| | 播磨町 | 兵庫県 | 播磨町 | 兵庫県 |
| 令和4年度 | 1.75 | 1.71 | 17.49 | 16.91 |
| 令和3年度 | 1.77 | 1.73 | 16.74 | 17.29 |
| 令和2年度 | 1.79 | 1.75 | 16.52 | 17.49 |

資料：兵庫の国保

1日当たり診療費については、入院外は令和2年度から令和4年度で一貫して本町の値が県より低くなっています。入院は令和4年度では本町の値が県より低くなっています【図表1-18】。

【図表1-18】1日当たり診療費（円）

| | 入院外 | | 入院 | |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 播磨町 | 兵庫県 | 播磨町 | 兵庫県 |
| 令和4年度 | 15,262 | 15,800 | 37,169 | 38,541 |
| 令和3年度 | 15,392 | 15,789 | 37,631 | 36,226 |
| 令和2年度 | 15,189 | 15,633 | 37,012 | 34,906 |

資料：兵庫の国保

（6）健康づくりに関する状況

①妊婦の喫煙・飲酒の状況

妊婦の喫煙・飲酒状況をみると、喫煙率・飲酒割合ともに平成29年度よりも減少しています【図表1-19】。

【図表1-19】妊婦の喫煙・飲酒の状況

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--------------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 妊婦の喫煙率（％） | 5.0 | 4.0 | 2.4 | 2.9 | 1.6 | 0.8 |
| 妊婦の家族の喫煙率（％） | 40.9 | 40.3 | 56.8 | 38.3 | 35.8 | 33.5 |
| 妊婦の飲酒割合（％） | 1.2 | 0.8 | 1.2 | 0.8 | 0.4 | 0.4 |

資料：播磨町こども課

②むし歯のある子どもの状況

むし歯のある子どもの割合についてみると、1歳6か月、3歳、5歳については、平成30年度より減少しています。小学1年生においては、令和2年度・令和3年度は平成30年の値を下回っているものの、令和元年度は平成30年度の値を上回っています。中学1年生においては、令和3年度は平成30年度を下回っているものの、令和元年度・令和2年度は平成30年度の値を上回っています【図表1-20】。

【図表1-20】むし歯のある子どもの状況

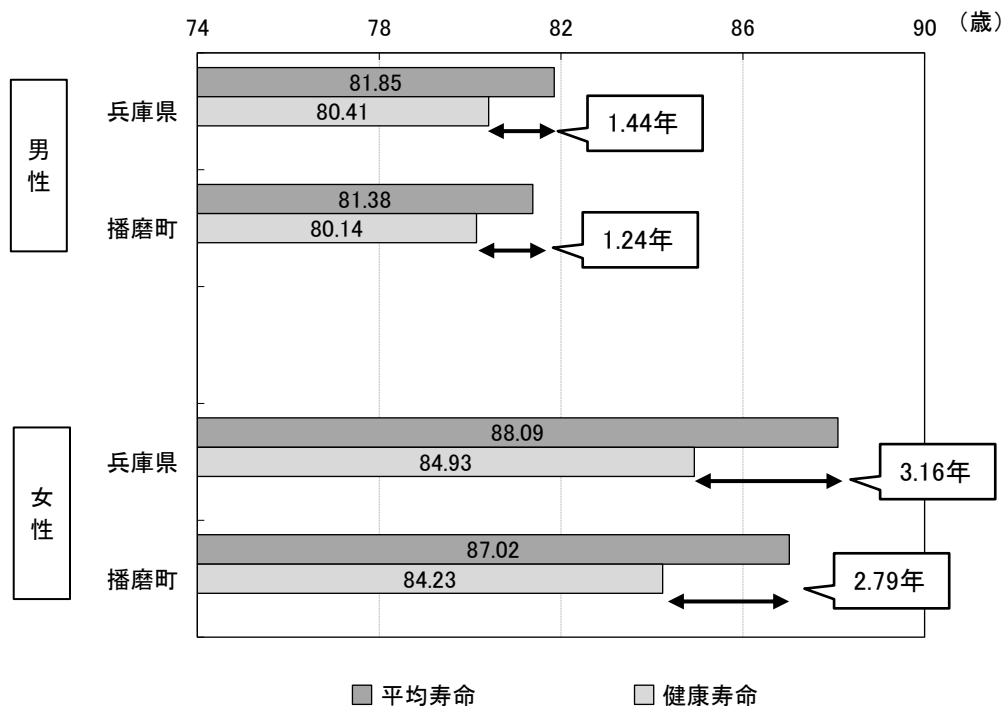
| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------|--------|-------|-------|-------|
| 1歳6か月 | 0.7% | 0.5% | 0.3% | 0.4% |
| 3歳 | 18.3% | 11.8% | 13.9% | 10.6% |
| 5歳 | 44.7% | 20.8% | 31.8% | 37.6% |
| 小学1年生 | 50.3% | 52.2% | 41.3% | 39.7% |
| 中学1年生 | 36.1% | 47.9% | 49.7% | 32.2% |

資料：兵庫県健康増進課

(7) 健康寿命

本町の健康寿命（日常生活動作が自立している期間の平均）についてみると、男性 80.14 歳、女性 84.23 歳となっています。支援や介護が必要となる期間を県と比べると、男性は県より 0.2 年短く、女性は県より 0.37 年短くなっています【図表 1 - 21】。

【図表 1 - 21】 平均寿命・健康寿命（令和 2 年）



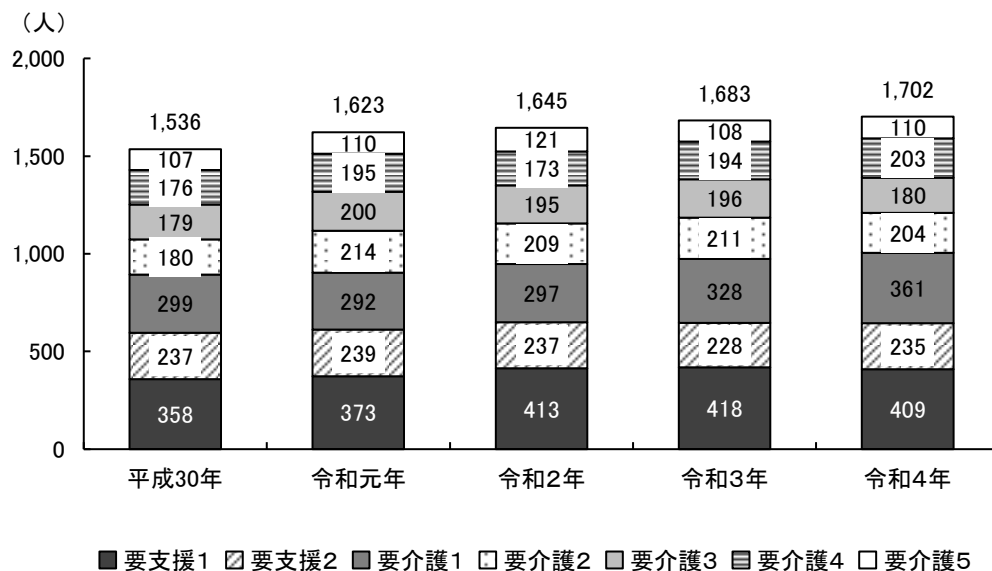
資料：兵庫県における健康寿命の算定結果

(注) 国では「日常生活に制限のない期間の平均」を指標としているが、県では要介護認定の状況をもとに算定した「日常生活動作が自立している期間の平均」を指標としているため、算出方法が異なる（健康寿命の算定には、「日常生活に制限のない期間の平均」、「自分が健康であると自覚している期間の平均」、「日常生活動作が自立している期間の平均」の指標が厚生労働省で示されている）。

(8) 要介護認定の状況

本町の要介護認定者数は年々増加傾向にあり、令和4年で1,702人となっています。令和4年の介護者数を介護度別にみると、要支援1、要介護1、要支援2の順で多くなっています【図表1-22】。

【図表1-22】 要介護認定者の推移



資料：介護保険事業状況報告書